

書道実技 試験要領 (試験時間 80 分)

1. 資料は 10 種あります。以下の①②について、① 1 点、② 2 点の計 3 点を提出のこと。指定用紙 (厚手 10 枚、薄手 3 枚) を適当に使って、時間内に書き上げてください。

① (1) 「龍」は、必修です。資料 1～9 の中から 1 字を選んで、それを参考にし、「半紙一字書き作品」として仕上げてください。

② (2) ～ (10) の中から 2 種を選んで、半紙に仕上げてください。

2. 各資料は古典を拡大してあります。文字の配置、大きさなどの構成は、自由に行ってください。なお、(10) については、課題文を調和体の作品として、半紙に自由に構成してください。
3. 提出作品には、「受験番号」と「資料番号」だけをアラビア数字で書き入れ (鉛筆かボールペンを使用)、姓名などは書かないこと。

(1) 「龍」に関しては、資料 1～9 のうちの選択した資料番号を例にしたがって記入してください。

〔例〕資料 7 を選択した場合 = (1) - 7

4. 提出作品は、(1) を最上部に、以下は順不同で 3 枚重ね、係員に手渡してください。

(全員の提出が終わるまで退出できません。)

(1) 「龍」必修 一字を選んで「半紙一字書き作品」として仕上げてください。

1

2

3

4

5

6

7

8

9

(2) 「深文之訛」

(3) 「不增不減」

(4)

「乃成其学」

(5)

「千年之聖」

(6) 「わかいははみわのやまもとこひしくは／とふらひきませすきたてるかと」

(7) 「趣舎萬殊」

(8) 「世宗」

(10) 「何かしてご覧らん ひよっとしたら

素敵すてきな世界せかいがやってくる」

(9) 「世界」

何かしてご覧

ひよっとしたら素敵すてきな世界が
やってくる

行数・構成は自由

漢字をひらがなに変えてもよい